



旧大山町役場の敷地

問



池田満正 議員

旧大山町役場が取り壊され、敷地内は真砂土で整地してある。

平成22年度には13区画（1区画50×60坪）で宅地造成事業が予定されている。

①いつから、販売を予定

しているか。

②どういう販売努力をしていくつもりか。

③地元自治会と十分打ち合わせをしたか。また、今後も打ち合わせをしていくのか。

町長

宅地にして販売する

旧大山町役場敷地の今後は

答

森田町長

この事業は、若者の定住と遊休町有地の有効活用をめざし、宅地として分譲するものである。

①平成22年4月に工事を発注し、7月に完成を見込んでいる。分譲は、工事の完成を待たず、できるだけ早く開始する。

②新聞の折り込みチラシ、現地見学会、大山チャンネル、広報だいせんなどで宣伝を行う予定。

そのほか、町ホームページでの全国発信や、ハウスメーカーへの定期的な情報提供も行う予定である。

③大山口自治会には、説明会を行ってきた。

今後の説明会は、設計が完了した時点で行う予定にしている。

みなさんからの陳情はこうなりました

3月定例議会で審査した陳情は、次のとおりです。

陳情の件名	陳情者等	委員会の意見	付託委員会名	審査結果
安心・安全な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める意見書の採択について	国土交通省 全建設労働組合 中国地方本部 執行委員長 末永 敦 外1人	事務所、出張所の削減は災害、緊急時の対応に遅れが生じ国の責任が問われる。また、公共事業の減少も予想される。全会一致で採択と決した。	経済建設常任委員会	採択 賛成者16人 (意見書提出)
大山町営墓地建設に関する陳情	大山町飯戸 あけまの森区長 須山 富美子	墓地の需要は多様化しつつあり、墓地の建設は、町民のみならず、町外からも需要が見込める。全会一致で採択と決した。	総務常任委員会	採択 賛成者16人
核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の決議について	平和市長会議会長 広島市長 秋葉忠利 外1人	唯一の被爆国として、核兵器のない平和な世界の実現に向けた取り組みを続けなければならない。全会一致で採択と決した。	総務常任委員会	採択 賛成者16人 (意見書提出)
後期高齢者医療制度の即時廃止に関する陳情	全日本年金者組合 鳥取県西部支部 支部長 増田修治	国は、医療制度の抜本的改革と新制度の成立をめざしている。即時廃止は若い世代への負担増にもつながる。採決の結果、不採択と決した。	教育民生常任委員会	不採択 採択に賛成者1人